

第8回
企画展

森の輪舞

—きのこのこの神秘にせまる—



Amanita hemibapha

画：小林路子

The Mysteries of Mushrooms

1996.10.12(土) ▶ 12.8(日)

●開館時間

午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

●休館日

毎週月曜日
(ただし11月4日(月)は開館、5日(火)が休館)

●入館料

小・中学生	140円 (70円)
高・大学生	420円 (280円)
大人	700円 (560円)

※()内は20名以上の団体料金

この料金には常設展・野外施設入場料が含まれています。
★11月13日は茨城県民の日で、無料入館日となります。

次回企画展 宇宙と人類の未来

1997.4.26(土)～6.15(日)



ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-06 茨城県岩井市大崎700番地 TEL 0297-38-2000
ハローダイヤルいばらき 029-226-8600 #8886(ブッシュ回線)

The Mysteries of Mushrooms



森の中で、きのこが大きな輪を描いて生えている光景を見たことがあるでしょうか。これはヨーロッパでは“妖精の輪（フェアリーリング）”と呼ばれる不思議なきのこの生え方です。ふだん食卓にのぼるシイタケやマイタケのようなきのこからは想像できない魅力あふれる姿です。また、秋になるときのこは倒木や地上から次々と顔を出し、野生の味で人々を魅了しますが、なかには毒という恐い武器をもつものもあります。

ところが、野山ではきのこの存在は目立つものではありません。日本で約3,000種が知られていますが、多くのきのこがまだ名前もなく、存在すら知られずに身近に潜んでいるのです。そして、人目につかないところで樹木の成長を助けたり、落葉や木材の分解を行ったりして、還元者（分解者）としての重要な役割を自然界で果たしています。また、薬になるきのこがいくつか知られており、今後さらに医学分野での貢献が期待されます。

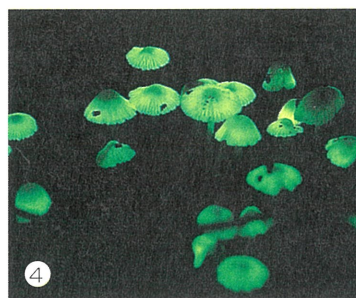
今回の企画展“森の輪舞”では、きのこの意外な美しさ、暮らし方、他の生物との関わり、面白い性質や自然界での働き、さらに私たちがきのこから受けるさまざまな恵みについて紹介します。この企画展がユーモラスで神出鬼没な生物“きのこ”を親しく知る機会となることを願っています。

展示内容

1. ようこそきのこの世界へ —きのこさまざま
2. きのこのすみか —ジオラマ探検
3. きのご探究 —生き物との関わり
4. 人ときのこ —きのこを用いる
- ★トピックス展示 —光るきのこ



- ① 群生するセンボンイチメガサ
- ② ムラサキホウキタケ
- ③ 菌輪 —モリノカレバタケ
- ④ 光るきのこ —ヤコウタケ
- ⑤ 冬虫夏草 —ヤクシマセミタケ



◆展示室ご案内◆

